

内閣府 沖縄振興特定事業
ICT技術を用いた予防医療体制構築事業

事業説明

2025年9月21日
うるま市
中部地区予防医療コンソーシアム
(株式会社オーシーシー、一般社団法人中部地区医師会)

【令和7年度】ICT技術を用いた予防医療体制構築事業

事業概要

全国に比して生活習慣に起因する疾病の患者が多い沖縄において、発症リスク予測が可能なICT技術を活用し、各個人の健康状態を踏まえた最適な保健指導や治療等が可能となる、予防医療の体制構築の取組を行う。

事業期間：R7～R9
総事業費：521百万円(国費：417百万円)

事業の目的・効果

【事業の目的】
ICT技術を活用した県内の医療機関等の予防医療体制の構築により、県民の健康増進を図る。

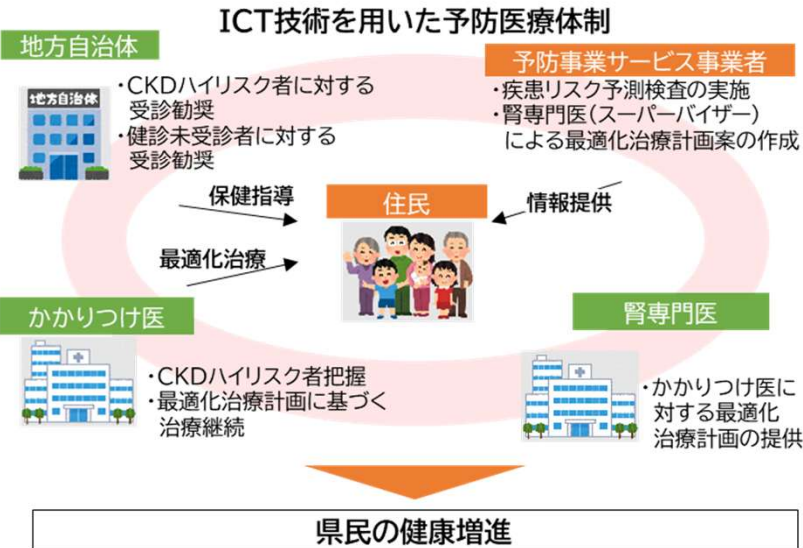
【事業目的の公共性】
本事業において予防医療の連携体制を構築することで、沖縄県において大きな課題となっている県民の健康状態の改善が図られるほか、透析をはじめひっ迫している医療体制の改善や増大する医療関係費の低減に資するものとなる。

年度毎の取組

単位：百万円、括弧内は国費

取組	R7	R8(予定)	R9(予定)	計	R10～
実証事業	134 (107)	146 (117)	240 (192)	521 (417)	実装・ 横展開
実証内容	自治体の健診データを中心とした連携体制の構築	クリニック診療を加えた連携体制の構築	実装化に向けた実証		

事業イメージ



事業全体の概要

疾病リスク予測検査(フォーネスビジュアル)
を用いた検診未受診者に対する受診勧奨事業

CKDサービス事業

- CKDサービスによりCKDハイリスク者を抽出し、CKDビジュアル経過表を活用して市が保健指導の場で透析の将来予測を示し、住民の行動変容を促して医療機関の受診につなげる。その後、専門医の知見をもとに高度な治療計画を医療機関に提供する。
- 特定健診未受診者に、CKDを含む疾患発症リスクを予測する検査を提供し、健康意識向上と生活習慣改善を促進する。これにより将来のCKD発症予防を図るとともに、コンシェルジュによる特定健診の受診勧奨につなげる。

ハイリスク患者を抽出

ハイリスク患者抽出（健診受診者、クリニック患者）

5年分の健診データから自動でCKDハイリスク患者を抽出、経過表を作成

CKD ハイリスク患者抽出



ハイリスク患者の 時系列データの見える化



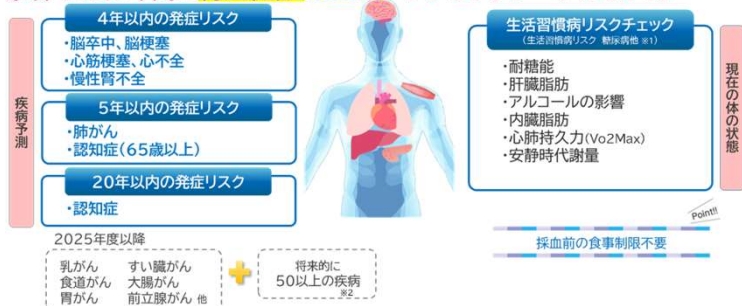
クリニック
ハイリスク患者

健診受診
ハイリスク患者

疾病リスク予測検査(フォーネスビジュアル)

1度の少量の採血で「疾病のリスク予測」と「現在の体の状態」を提供する

対象者:過去5年間に**特定健診未受診**かつレセプトデータのない方



介入により発症・重症化予防を実現

治療計画案作成

診療データから個別治療計画書を作成。
地域医療機関に提供



個別最適化 治療計画案

協力医療機関にて 医療介入

医療機関にて個別治療計画書
をもとに介入を実施。慢性腎臓病
(CKD)患者の重症化予防に寄与

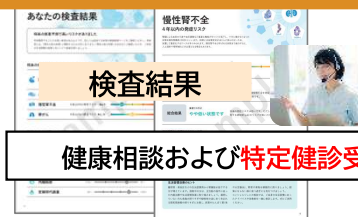


保健指導

医療機関受診勧奨

医療機関受診

コンシェルジュ保健師



特定健診受診

CKD 事業の全体像（2つの事業を行います）

1) うるま市(市町村)保健事業支援 (保健指導、受診勧奨)

健診データより
透析ハイリスク患者抽出
CKDビジュアルシート作成



うるま市健康支援課

2) かかりつけ医/専門医連携支援 (ハイリスク患者抽出、専門治療支援)

クリニックデータより
透析ハイリスク患者抽出
CKDビジュアルシート作成
治療計画案作成



かかりつけ医

4 協力医療機関

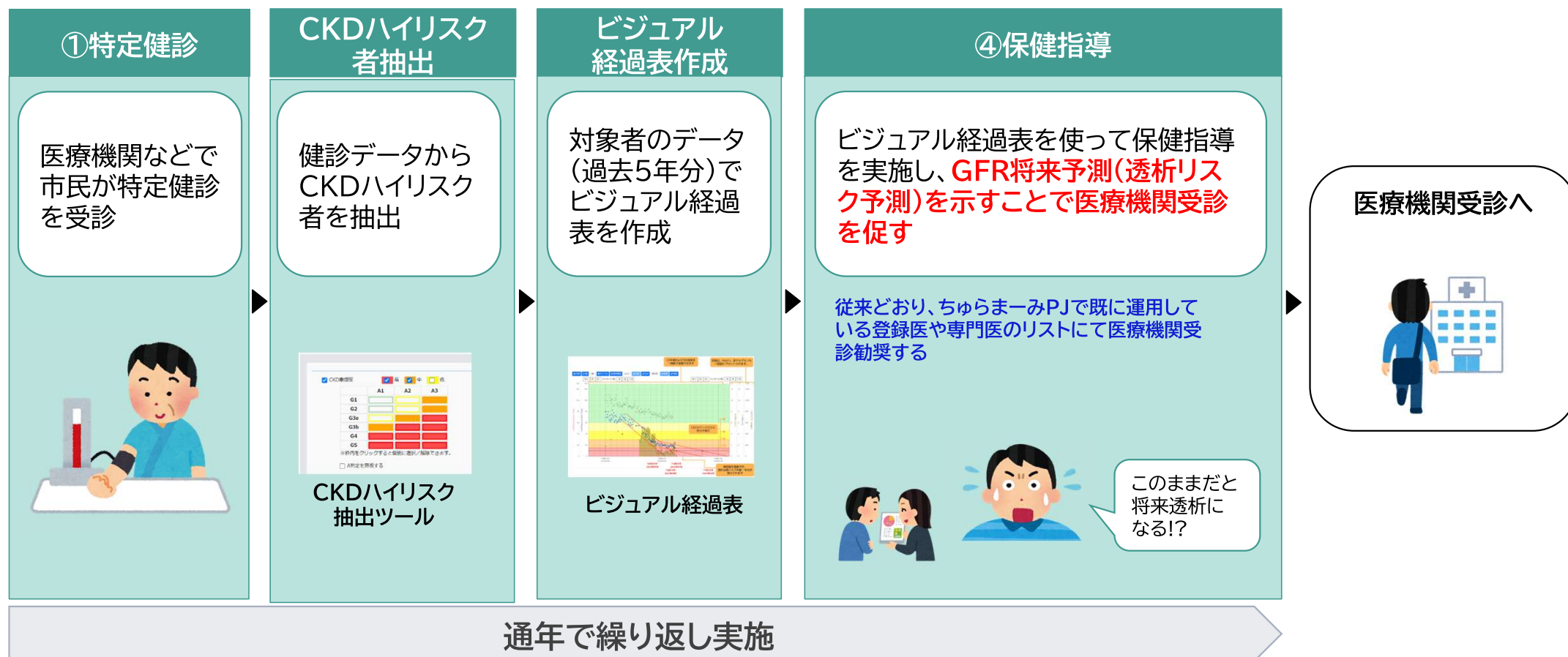


腎専門医

基幹病院

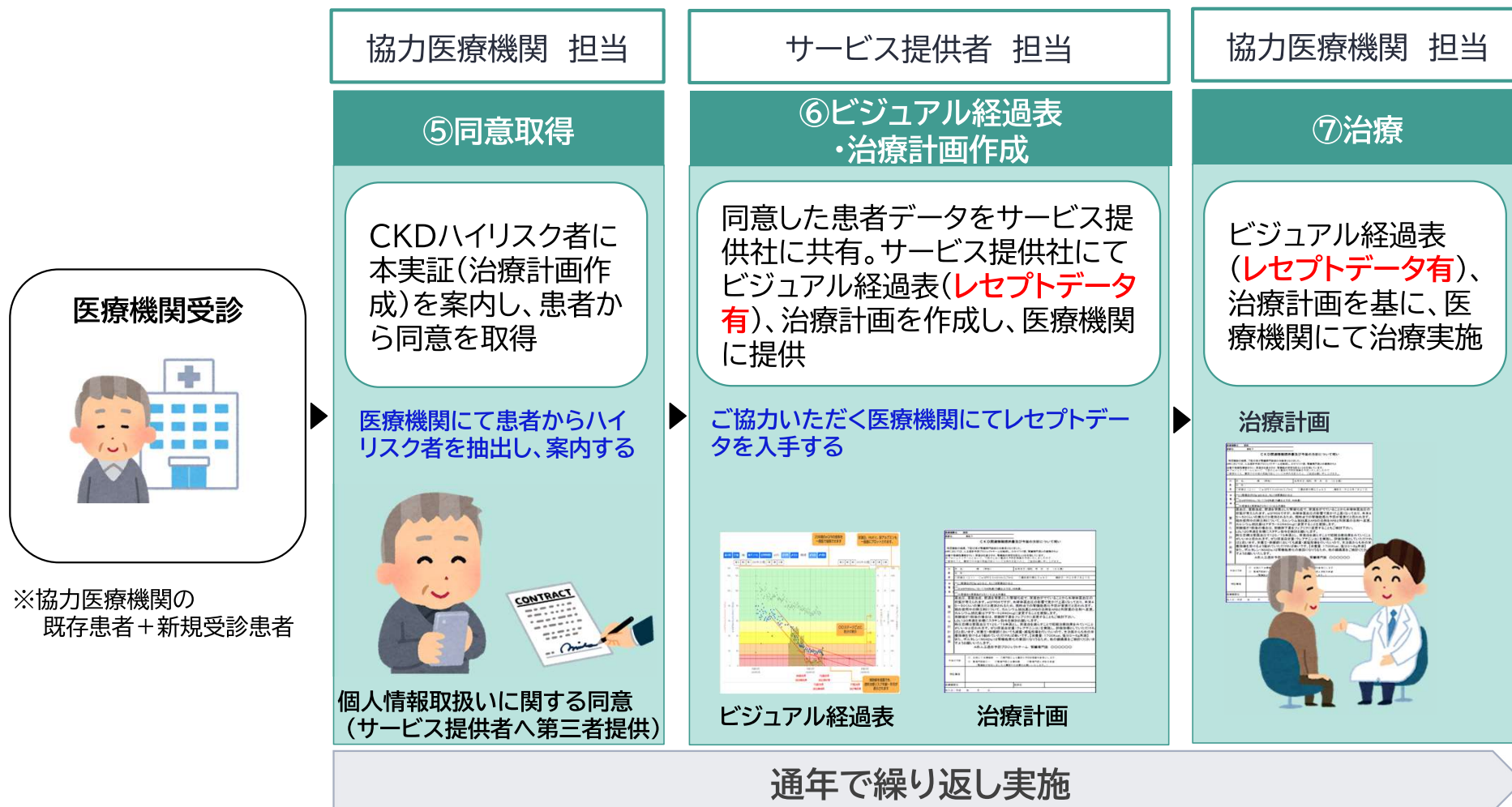
参考. 2-1

CKDサービスによる新規透析患者数減少への取り組み - 保健指導での活用 -



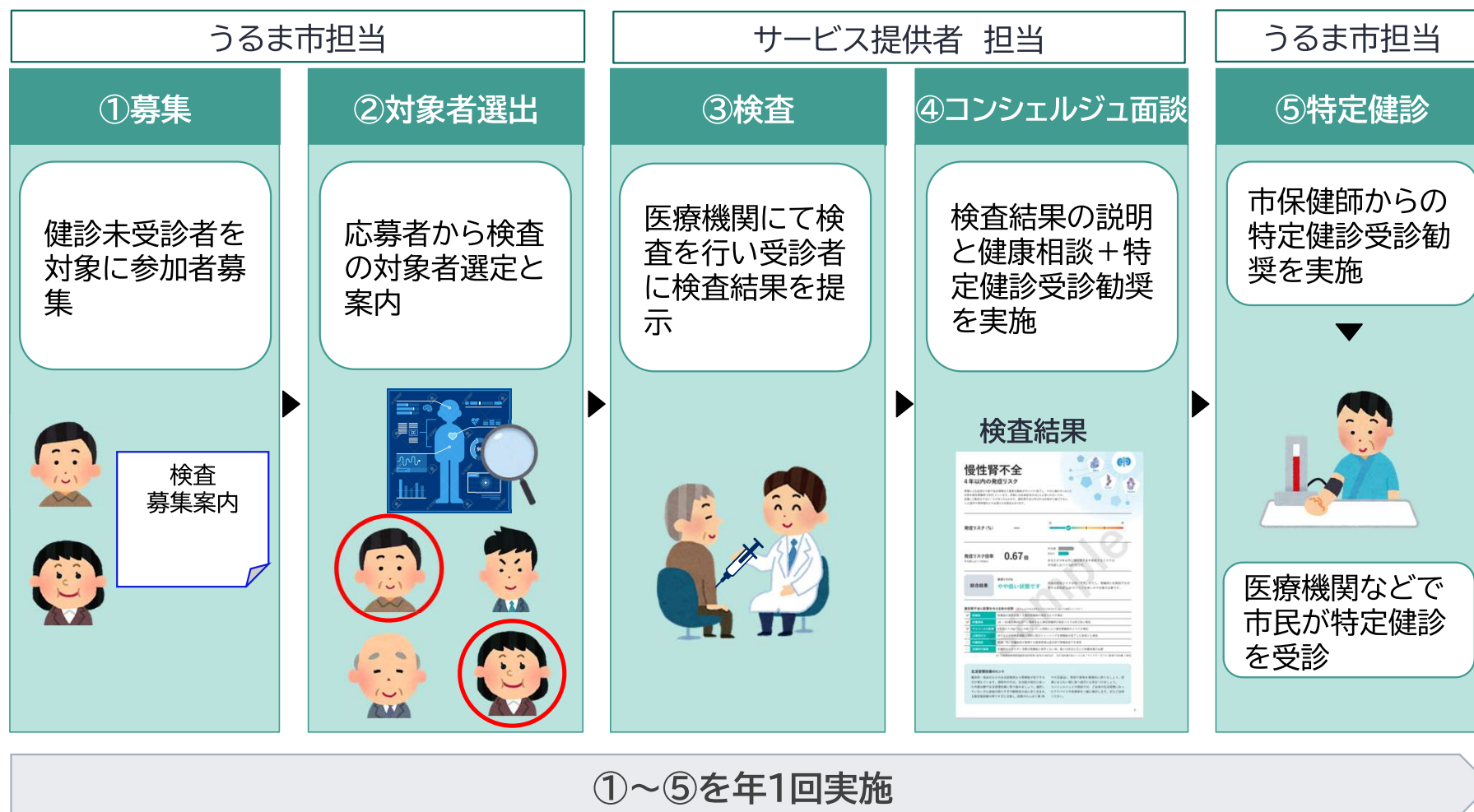
参考. 2-2

CKDサービスによる新規透析患者数減少への取り組み - 医療機関診療での活用 -



参考.3

疾病リスク予測サービス(フォーネスビジュアル)による特定健診受診者増加への取り組み



ICT技術を用いた予防医療体制構築事業（体制図）

予防医療体制構築後

